

第9回支部役員会議事メモ

(12/16 (木) 10~14:30 ウェルネス八日市: 欠席 田邊副)

1. 議事-1 (10:00~10:45)

- (1) 第14回地域活動事例発表会の「中部支部PP発表」(前田邦博・須田進一)を実施し、来期に向けての参考事例とした。
→中日新聞の抜粋資料を参考(別紙添付した)。
- (2) 「無料基礎(必修)講座」PRと参加者募集(彦根:5名枠)について
 - ・堀江、田邊、川嶋、須藤、他確認中(日野分会、等)
 - ・オンライン:(草津)中川、(彦根)前田、玉川、他確認中
 - ・締切り:12/末日、参加者調整は須藤が1/7までに実施する。
- (3) 「本部一斉清掃(美国会)行事」と「本部GG大会」の反省と来期への意見集約は、1/19の第10回支部役員会で実施する。
- (4) 今後の会議予定について(原案通り決定)。
 - ・次回第10回支部役員会:1/19(木)10~12時
能登川CCで決定。

2. 議事-2 (10:45~11:15)

- (1) 中間会計(行事収支)報告をした。予算通り推移している。
- (2) 来期の総会对策として、中部支部会則を確認した。
- (3) 45期学生募集活動と作品展開催(案)について協議した。
 - ・原案通り開催することが決まった。
 - ・7/6(木)~7/10(月)、5者(アピア八日市、大学事務局、サポートの会、えにしの会、中部支部)が協力して実施する。

3. 議事-3 (11:15~(昼食忘年会)~14:30)

- (1) 「支部の事業部会制」移行への検討協議。
- (2) 来期行事の“あるべき姿”と企画立案・実行方法の検討協議。
上記(1)(2)項について、各役員の見解を聞くと共に、今後について協議した。

まずは、上記(1)項については、大きくみて、「原案の事業部会制①案・②案の改善案に賛成方向の役員が6名、保留1名、新たに④案を入れて再検討が1名」になり、協議を継続していく。

この協議の中で、①案は“他の分会会員との交流ができる”ことは大変良いことだ、との意見もでた。

(③案：分会の3グループから2グループ化は否となった。④案：副支部長の4～5名化、副支部長が各部会を担当（湖北支部例）の新たな検討案を今後の協議の中に入れることにした。)

次に、上記（2）項については、本部行事の「GG大会とびわ湖一斉清掃（美国会）」は、次回1／19第10回支部役員会で協議して、意見を本部の持っていくことが決まった。

中部支部行事は、4支部GG大会の実施可否（本部GG大会との関係）、新入会員歓迎会、作品展の隔年開催も視野に入れ要検討、などが意見がでた。

話し合いの中に、分会行事のあり方についても話がでた。

分会内の会員数に多少があり運営が難しいが、「分会内交流や地域活動は大事」、そこに焦点をあて実施する必要があるとの意見もあった。

なお、新型コロナ環境で“飲食を伴う懇親会から新しい交流会スタイル”の模索が必要であるという意見もでた。

今後、上記（1）（2）項について、各分会内でも協議を進め、1月の支部役員会で協議をより進展して、2月支部役員会で方針（案）決定をして、4／13支部定期総会で提案する目標で作業を進めて行きたい。

各役員のご協力をお願いしたいと思います。



清掃奉仕や桜植樹
卒業生が活動報告

県レイカディア大学
六十歳以上の県民が地域

の景色がきれい、乗客に見せようと一部で速度を落としていた。運行再開直後の只見線の様子を直接見て、地元の人や地産も味わった。

高校で十二日、リハールをした。只見線沿線では地元愛が強いことや、特産品が豊かななどの強みがある一方、列車本数が少なく、特産品も売りづらいといった課題もあると提示。自分たちのカフェ出店経験を生かし、地元住民や高校生が協力して毎月一回、只見駅でカフェ運営する案を披露した。

三年の松村征哉さん(こし)は「カフェについては負けない。自分たち以外にも(カフェ運営の)事例があり実現性もある」と自信を見せる。提案が採用された先を見据えて、近江鉄道とJR只見線の姉妹鉄道化や、カフェ同士で連携する企画も示す。

文化や環境保全などを学ぶ県レイカディア大学の卒業生の活動発表会が十四日、草津市笠山の県立長寿社会福祉センターで開かれ、約百二十人の同窓生らが出席。代表者が、これまでに取り組んだ地域貢献活動を紹介した。

県レイカディア大は一九七八年に開校。同窓会には市町や地域ごとの九支部に計約千四百人が加盟し、それぞれの地域でボランティア活動などに取り組む。十月には琵琶湖岸や河川の一斉清掃を実施し、九支部の



湖畔清掃などの成果を報告した発表会。草津市笠山の県立長寿社会福祉センターで。

計約二百六十人が参加。発表会では支部ごとに、清掃の成果や独自の活動について報告した。

中部支部の須田進一さん(あ)「東近江市」らは、地元の人たちと立ち上げた「桜の花路を楽しむ会」の活動を紹介。市内を流れる瓜生川沿いに桜並木をつくるため、二〇一八年に植樹を始め、現在までに約五十本の八重桜を植えた。須田さんは「来年の春には桜祭りを開き、地域の人たちと桜の下で楽しく交流したい」と話した。

(加藤涼太郎)

55人が楽しくプレー

中日杯Gゴルフ

甲賀

甲賀市の貴生川グラウン

ドゴルフ連合会が主催する秋の大会中日新聞社杯(中日新聞社後援)が、同市水口町の柚川運動公園であった。市内の愛好者ら五十五

